

児童生徒仲良しコミュニケーション活動

平成 30 年度 根室管内の取組



オール北海道共通テーマ
他者の価値観を理解し、地域全体で
交流を生みだしやすい環境をつくろう！

平成 31 年 3 月
北海道教育厅根室教育局

巻頭言

子どもたちの思いを受け止めて

北海道教育庁根室教育局長 藤田寿香

北海道教育委員会では、平成19年度から、子どもたち自らがいじめの問題を考える「ストップ・ザ・いじめ子ども会議」を全道14管内で実施してきました。また、平成22年度から各管内代表の小・中・高校生が一堂に会して、いじめの問題について考え、より良い人間関係づくりについて話し合う「どさんこ☆子ども全道サミット」を開催し、「児童生徒仲良しコミュニケーション活動」として、道内の各地区において、子どもが主体となつたいじめをなくす取組を行っています。

平成28年4月には、いじめ根絶に向けたメッセージ「いじめをなくし、夢と希望が広がる未来を子供たちに」を発信し、いじめの未然防止、早期発見・事案対処に向けた継続的な取組を進めているところです。

しかしながら、今年度行った問題行動等の調査の結果では、平成29年度の道内の公立、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数は、12,129件であり、さらに、不登校の児童生徒数は、6,358人となっており、どちらも平成28年度と比較して増加し、根室管内においても、同様の傾向が見られています。

このような状況の中、子どもが安心して学校生活を送ることができる環境や体制づくりに向けた取組を一層徹底する必要があり、根室管内においては、平成30年11月10日に、中標津経済センター「なかまっぷ」を会場に、根室管内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒や保護者など計120名が参加し、「どさんこ☆子ども根室地区会議」を開催したところです。

本会議では、「他者の価値観を理解し、地域全体で交流を生みだしやすい環境をつくろう！」の全道共通テーマの下、参加した子どもたちは、それぞれの学校や地域の課題を踏まえ、理想の姿を思い起こしながら、課題の解決に向けた方策について真剣に考え、「地域内の交流を増やすためにあいさつ運動など皆で一つのこと取り組む」や「全校生徒で協力し楽しめる企画を考える」など、今後の具体的な行動に結び付く行動宣言を発表しました。本報告書では、地区会議を受けて各学校等で実践されたいじめをなくす取組の様子やいじめ根絶に向けた思いをまとめています。

各学校においては、いじめの未然防止、早期発見に向けた様々な取組が展開されていますが、本報告書で報告された子どもたちの思いをしっかり受け止め、根室管内の教育に携わる者たちが一丸となった取組を推進していただきますようお願い申し上げ、巻頭の挨拶といたします。



児童生徒仲良しコミュニケーション活動
平成 30 年度根室管内の取組

目 次

地区会議実施要項	2
根室地区の取組	3
全道サミット報告	4
根室地区会議	6
行動宣言	8
取組アンケートの結果から	13
地区会議後の取組事例	15
各市町の子ども会議	21
メッセージコンクール受賞作品	
ポスター	25
標語	(1)

地区会議実施要項

平成 30 年度「児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業」

平成 30 年度「どさんこ☆子ども根室地区会議」実施要項

1 目的

「どさんこ☆子ども全道サミット」における協議を踏まえ、児童生徒が主体的にいじめ（ネットトラブルを含む）の未然防止に向けて取り組むべき内容を話し合い、管内における「仲良しコミュニケーション活動」の定着と充実に向けた取組を推進する。

2 主催

北海道教育委員会

3 主管

北海道教育庁根室教育局

4 日時

平成 30 年 11 月 10 日（土） 13:00～15:30

5 会場

中標津経済センター（なかまっぷ） コミュニティホール
(標津郡中標津町東2条南2丁目1 TEL: 0153-72-5800)

6 参加対象

- ・地区実行委員及び管内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒
- ・教職員、保護者、市町教育委員会職員等

7 日程及び内容

13:00 13:10 13:30 14:3 14:50 15:00 15:30

開会	全道サミットの報告	グループ協議	全体会	休憩	「いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクール」表彰式	閉会
----	-----------	--------	-----	----	-------------------------------	----

8 その他

本会議において、「いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクール」の表彰式を行う。

根室地区の取組

平成30年度「どさんこ☆子ども根室地区会議」取組の流れ

「根室管内どさんこ★子ども地区会議」

【11月10日（土）中標津経済センター（なかまっぷ）コミュニティホール】

○ 全道サミットの報告（13:10～13:30）

- ・地区実行委員から全道サミットの報告。「いじめ」に対する認識を共有する。

共通テーマ：「他者の価値観を理解し、地域全体で交流を生みだしやすい環境をつくろう！」

○ グループ協議（13:30～14:30）

- ・地区委員がファシリテーターを務め、グループ協議を行う。
- ・グループは、市町単位を基本とする。

個人

①全道サミットの報告と自己とを結びつける。

- ・サミット報告と、日常的な自己の思いや受賞作品に込められた思いとの結びつきを交流する。

グループ

②各学校や地域の実態や取組について交流し、課題を見出す。

- ・模造紙に記入しながら、各自説明する。
- ・グループ内で、課題を共有する。

③理想の状態を想起し、課題解決のためにできることを考える。

- ・（例）表彰作品を用いた啓発等

グループとしての行動宣言

- 「グループ協議」での意見交流をもとに、各学校や地域、あるいはひとりひとりができる取組について、「行動宣言」の形に整理する。

○ 全体会（14:30～14:50）

発表

- 各グループの「行動宣言」を全体で共有する。

各学校における取組

【内容例】

- 表彰作品の効果的な活用
- 児童会・生徒会への働きかけ
- 地域や学校における取組の深化・発展

「紙面での実践交流」

- 各学校の取組や各市町の取組について、冊子の形にまとめるとともに、根室教育局のWebページに掲載する。

次年度の全道サミット

全道サミット報告

平成30年度「どさんこ☆子ども全道サミット」

平成30年8月9日（木）～10日（金）の2日間、北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川において、「どさんこ☆子ども全道サミット」が開催され、全道各地から高校生22名、中学生10名、小学生11名の計43名が集まり、根室管内からは、標津高校2年生の安住くんと櫻井さんが代表として参加しました。

全道サミットの目的

望ましいコミュニケーションのありかたについて
考える。

「どさんこ☆子ども地区会議」及び各学校における仲良しコミュニケーション活動に主体的に参加する意欲、態度を身に付ける。

協議テーマ

互いに認め合う共生の社会を目指して、未来につなぐ、みんなでつなぐオール北海道として仲良しコミュニケーション活動の共通テーマを考えよう。

マインドマップとは

◆手順

1. 白紙の真ん中に円を描き、中に名前を記入
2. 円から線を伸ばす
3. 伸ばした線の上に、思い浮かんだ言葉や絵を書く

全道サミット報告

ブレインライティングとは

◆手順

1. テーマに従って、シートの最初の1の空欄に、3つアイディアを記入する。
2. 指定された時間がたつたら、合図で一斉に、自分のシートを左側の人に渡す。
3. 自分の右側の人から回ってきたシート2の空欄に、1に記入されたことから連想したアイディアを3つ記入。
4. この手順を4回繰り返す。

アイディア例

- ・ 地域の人が来やすいような学校行事を増やす
- ・ 「ありがとう」などの相手の思いやりの言葉を入れる
- ・ 他学年で交流を持つ

特派員とは

◆手順

1. グループのリーダーはホスト役として残る。
2. 他のメンバーは「特派員」として他のグループを取材。
3. ホストは、グループでどんな話があったかを、そのグループに来てくれた人と共有し、意見交換する。
4. 「特派員」は、自分のグループに戻り、派遣先で得た発見や気づきを報告し、話し合いを深める。

全道サミットでは、地区会議で使える協議方法等の紹介を受けて、実際に協議を深めてみると、「相手の気持ちを考えることや思いやりの気持ちを持つこと」、「たくさんの人と話せる場をつくること」、「互いに分かり合える明るい場をつくること」などが大切であることが実感できました。

その経験を生かして私たちは、地区会議の雰囲気づくりに努めました。

根室地区会議

全道サミットの報告



冒頭、地区委員の標津高等学校櫻井亮河さん、安住友伽さんの2名が、全道サミットの報告をしました

グループ協議



9つのグループに分かれて協議を行いました

全体会



グループごとに「行動宣言」を発表しました